

令和3年度 関東森林管理局保護林モニタリング評価専門委員会  
議事概要

日時：令和4年2月15日（火）13時30分～15時30分

場所：関東森林管理局5階中会議室（群馬県前橋市）  
及び日林協会館5階中会議室（東京都千代田区）、Web開催

（1）令和3年度保護林モニタリング調査結果及び現状評価について

（磐城森林計画区）

- ・津島マツ遺伝資源希少個体群保護林について、マツ材線虫病（マツ枯れ）の被害が分かるようであれば、記載してほしい。
- ・現地調査に行くことのできなかつた保護林については、航空写真や衛星写真などで状況の変化を確認することも一案でないか。

（吾妻森林計画区）

- ・吾妻森林計画区の2箇所保護林について、黒斑山カラマツ希少個体群保護林は下層植生にミヤコザサが生育しているが、積雪量50cm以上か以下かでミヤコザサの生育の有無が変わってくるので、積雪量についてわかれば比較してほしい。
- ・黒斑山カラマツ希少個体群保護林で「ミヤコザサの開花が確認された」とあるが、開花の程度によってはカラマツの更新の機会となり得るので、程度が分かるよう記載すること。
- ・カラマツが保護対象種の保護林については、球果の有無も更新には大切でありモニタリング項目に入れる価値があると思うので、検討すること。
- ・保護対象種の林齢も概要表のどこかに記載するとよい。

（埼玉森林計画区）

- ・秩父山地生物群集保護林について、隣接する東京大学秩父演習林では、戦後から周辺の調査を継続しているので、取りまとめる際にはそうした情報も参考にするとよい。

（神奈川森林計画区）

- ・丹沢周辺の保護林はニホンジカによる被害がおおく、密度管理だけでは間に合っていないと感じている。小面積で多数の柵を設置するなどの対策が必要である。丹沢から富士山にかけて、全体の対策につながるような対策を検討してほしい。
- ・ブナが保護対象種になっている保護林については、種子の結実についてもモニタリングできるといいのではないか。

（中越森林計画区）

- ・佐武流山周辺生態系保護地域について、確認された倒木や幹折れは強風の攪乱の影響の可能性もあるので、過去5年間の台風の履歴も確認し、整理することを検討すること。
- ・佐武流山周辺森林生態系保護地域について、倒木や幹折れが確認されているにもかかわらず、植被率が減少している。林床が明るくなれば植被率は増えるはずなので、確認すること。
- ・佐武流山周辺森林生態系保護地域のように面積の広い保護林について、衛生画像・空中写真などを活用した変化や温暖化の兆候などを測ることのできるような調査を追加で実施できないか検討してほしい。

- ・プロットの再現性（小松原湿原生物群集保護林）について、見える杭の設置が難しい場合、海外では鉄製の杭を埋設し、マグネティックロケーターを使用している例もあるので、参考にするとよい。
- ・雨生池アマゴイルリトンボ希少個体群保護林と守門岳生物群集保護林の林地区分について、林地外となっている箇所が実際はどのようなところか。詳細がわかれば記載すること。
- ・雨生池アマゴイルリトンボ希少個体群保護林について、池の周辺の植生だけではなく、水の中の環境調査も必要ではないかと思うので、調査方法等について検討できないか。
- ・アマゴイルリトンボやカモシカなど、特定の種の保護が目的として設定されている保護林では、県等のレッドリストのカテゴリや保全措置の状況等の情報を収集・整理し、報告書等に掲載するとよい。
- ・笠堀カモシカ希少個体群保護林について、カモシカについては保護地域が設定され、10年に1度程度文化庁で調査が実施されているので、保護林がカモシカの保護地域に含まれているか確認し、活用できるようであれば、その調査の情報を整理し、報告書に記載するとよい。

## （2）生物群集保護林の地帯区分（案）について

- ・特段の意見なし

## （3）令和4年度保護林等モニタリング調査について

- ・特段の意見なし

## （4）その他

- ・特段の意見なし